ごあいさつ

駒場総務　　富井 湧

本日は、東京大学音楽部管弦楽団駒場祭特別演奏会にご来場賜り、誠にありがとうございます。

本年、当団は創立90周年を迎えました。長きに亘り当団が無事に活動を継続し、今日まで発展を続けることが出来ましたのも、ひとえに当団の演奏会にご来場下さる皆様のご支援の賜物です。この場を借りて御礼申し上げます。

本日の演奏会は、当団に所属する1・2年生の団員のみによって行われます。多くの1年生団員にとっては本日が入団以来初めての演奏会ですし、2年生団員にとっても運営し指導するのは初めての機会です。そのため、オーケストラとしては幾分嘴が黄色い部分を残していることは否めません。

しかし、この陣容で演奏するのは本日一回きりであります。この一回きりの演奏会のために団員は半年間練習に打ち込んで参りましたので、この演奏会に対する思い入れは並々ならぬものがあります。さらに若さゆえに蓄えたエネルギーは充分であり、時に抑え難くなるほど溢れております。この思いとエネルギーをまるごと注ぎ込み、伝統と時代精神の融合した一番若い世代の演奏を皆様にお届けすることができれば幸いです。

最後になりましたが、この演奏会を迎えるにあたりご指導くださった先生方、親身な助言をくださった先輩方、そして、今日演奏会にいらっしゃり、このパンフレットを手に取ってくださったお客様に重ねて厚く御礼申し上げます。

平成22年11月吉日

コンサートマスター　常田 俊太郎

本日は東大オケの駒場祭特別演奏会にお越しいただきありがとうございます。当団では毎年、この駒場祭への演奏会には１、２年生だけで臨むことになっています。そのため、まだまだ未熟な部分はありますが、若さと情熱では３，４年生に負けません。特に今年は熱いメンバーが揃っており、みな本番に向けて頑張って練習してまいりました。本日は若さ溢れる熱い音をみなさまに届けられるように精一杯演奏します。お楽しみいただければ幸いです。